

内地ニハ産セズ、支那、滿洲、朝鮮、東部シベリアニ分布スル多年生草本デ (Fig. 5.) 又牛扁ハれいじんさう *Aconitum pallidum* REICHB. f. *genuinum* NAKAI (きつねのぼたん科) ニ充テラレテキルガ未ダ判然シナイモノデアルト謂フ。因ニ現今我邦市場デ牛扁草ト稱スルモノハ何レモ殆ンドげんのしょうコデ牛扁草ハげんのしょうコノ別名トシテ廣ク行ハレテキル。

本稿ヲ草スルニ當リ分析ヲ擔當サレタ星森雄君ニ深謝スル。

日本地衣學史 (其二)

佐 藤 正 己

M. M. SATÔ: History of Lichenology in Japan (II)

安 田 時 代

三好時代ニ續イタ日本地衣學ノ暗黒時代ヲ打開キ、日本ノ地衣學界ニ新知見ヲ齎シタノハ故理學士安田篤氏デアル。氏ハ明治元年九月八日東京下谷練堀町ニ呱呱ノ聲ヲアゲ、長ジテ東京帝國大學理科大学ニ入り、植物學ヲ修メ明治二十八年七月ニ卒業サレタ。⁽¹⁾ 氏ノ卒業論文ハ「胡蘆科植物ノ比較解剖」ト云フ題目デアツタガ、卒業後ハ下等植物ノ生理學的研究ニ進マレ、殊ニ菌類ニ興味ヲ持チ、次第ニ此等ノ分類學的研究ニ没頭サレ、ヤガテ地衣類ノ分類ニモ歩ヲ進メラレタノデアル。

安田氏ガ地衣類ノ研究ヲ始メラレタノハ、第二高等學校教授トシテ仙臺ニ赴任サレタ後ダガ、同地ノ篤學者飯柴永吉氏ハ専門ノ蘚苔ノ外ニ地衣類ニモ着目シ、歐米地衣學者ノ鑑定ヲ受ケタ多數ノ標本ヲ所藏シテ居ラレタノデ、此等ヲスベテ安田氏ニ提供シテソノ研究ヲ助ケラレタ由デ、此事ハ研究ノ第一歩ニ入ツタバカリノ安田氏ノ貴重ナ道しるベニナツ事ト思フ。⁽²⁾

安田氏ハ自ラ北ハ樺太・千島ヨリ・南ハ四國・九州マデモ採集ニ旅行シ、多數ノ標本ヲ採集サレタガ、ソノ他ニ宇井縫藏・千野喜十郎・中路正義・生駒義博、角田愛花等ノ諸氏ガ夫々ソノ在住地附近デ採集シテ安田氏ニ送ツタ標本モ相當ノ數ニ及ンデキル。

(1) 市 村 塘：故理學士安田篤氏履歷及業績 [植物學雜誌 XXXVIII, 249-250 (1924)]

(2) 飯 柴 永 吉：本邦地衣類研究小史 [植物趣味 II, 2, 62-65 (1933)]

氏ハ此等ノ標本ヲ數回ニ汎ツテフィンランド國ノ地衣學者 WAINIO (後ニ VAINIO ト改名)ニ送ツテ鑑定ヲ乞ハレタガ、ソノ結果ハ幸ニモ日本デ發表サレタ。⁽¹⁾此ノ結果約 250 種ノ邦產地衣ガ明ニサレタガ、ソノ中 107 種ハ新種トシテ記載サレタ。安田氏ハ其後又多數ノ標本ヲ送附サレタガ、WAINIO ハ病氣等ノ故障デ鑑定ノ結果ヲ報告シナカツタガ、ソノ間ニ安田氏ハ突如トシテ腦溢血ニ倒レ、WAINIO モ亦 1929 年 5 月淋シク逝キ、遂ニ闇ノ中ニ葬ラレテシマツタ、然シ WAINIOニ送ツタ標本ノ片割レニハスベテ控番號ガ打タレ、WAINIO ノ返事ガ到着次第直チニ書込メル様ニシテアル。此等ノ標本ハスベテ安田氏ノ没後、朝比奈博士ノ



第 5 圖 研究室ニ於ケル故理學士安田篤氏
(飯田次雄氏所有ノ寫眞ニヨル)

御盡力ニヨツテ整理サレ、東京帝大理學部植物學教室ノ腊葉室ニ保管サレテキルガ、著者ハ此標本ヲ見ル毎ニ天ガ若シ安田氏ト WAINIO ニモウ 5 年ダケノ壽命ヲ與ヘタナラバ、之等ノ標本ハスベテ適當ニ命名サレテ居タデアラウト思フト、シバシ感慨無量、長嘆息シテ故人ノ薄幸ヲ思フノデアル。

此ノ安田時代ハ専ラ「安田—WAINIO」ノ協力ニ成ツタモノデアルガ、既ニ此頃カラ次ノ朝比奈時代ニ活躍スル ZAHRBRUCKNER ガ顔ヲ出シテキル。即チ同氏ハ既ニ 1916 年ニ邦產地衣類 25 新種ヲ記載シテキルガ、⁽²⁾ソノ中ノ 5 種ハ安田氏ノ送品ニヨルモノデ之ニ就テハ別ニ邦文ノ報告モアル。⁽³⁾是ニ續イ

(1) WAINIO, E. A.: Lichenes ab A. Yasuda in Japonia collecti [植物學雜誌 XXXII, 154-163 (1918)]

(1) WAINIO, E. A.: Lichenes ab A. Yasuda in Japonia collecti. Continuatio I [同上 XXXV, 45-79 (1921)]

(2) ZAHLBRUCKNER, A.: Neue Flechten. VIII [Annal. Mycol., XIV, 43-61 (1916)]

(3) 安田 篤：地衣類ノ五新種 [植物學雜誌 XXIX, 317-322 (1915)]



第 6 圖 散歩中ノ故 E.A. WAINIO
(MAGNUSSON ノ追悼文ヨリ)

テ前記ノ WAINIO ノ論文ガ發表サレ、安田氏モ亦共同デ新種ヲ記載シタ。⁽¹⁾ 然シテ此等ノ新種ノ大部分ハ角田愛花氏ノ採品デ、ソノ數實ニ 50 種ヲ越エテキル。

安田氏ノ篤學ハ夙ニ定評ガアリ、文部省ハ大正七年カラ同十二年マデ科學獎勵費ヲ授與シテソノ研究ヲ援助シタガ、ソノ補助ノ項目中ニ「樹皮面、岩石面及ビ地上ニ生ズル地衣類ノ分類學的及ビ地理學的研究」ト云フノガアツテ、ソノ研究報告ハ文部省ニ提出サレタガ、未ダ出版ニ至ラヌ中ニ彼ノ關東大震災ニ遭ヒ全部ヲ烏有ニ歸シテ了ツタ。ソノ上、補助ノ中止ト云フ悲報ガ發セラレタガ、幸ニモ仙臺ニ創設サレタ財團法人齋藤報恩會ニ認メラレ、年額 1,200 圓ノ補助ヲ受ケルコトガ出來テ、氏ハ

再ビ勇躍シテ研究ニ精進サレタノデアツタ。カクシテ地衣學者トシテ安田氏ノ研究ハ日ニ月ニソノ深サト廣サヲ増シテ行ツタノデアツタガ、不幸ニシテ大正十三年五月十二日突然腦溢血ニ倒レ、遂ニタ、ズ、同月十四日逝去サレタ。

カクシテ安田氏ノ多數ノ蒐集標本モ、苦心ノ結晶タル遺稿モ遂ニ空シク散逸スル危機ニ際會シタ時、カネテ同氏ト交渉ノアツタ朝比奈博士ハ故人ノ苦心ヲ無ニセヌ爲ニ、數度仙臺ニ赴カレテ整理ニ從事シ、遂ニ標本ハスベテ故人ノ母校タル東京帝大理學部植物學教室ニ寄贈シ、ドイツ文デ書カレタ遺稿ハ邦譯シ、若干ノ訂正増補ヲ加ヘテ、安田氏ノ名ヲ以テ「日本產地衣類圖說」トシテ刊行サレタ。此ノ刊行ハ「學術研究報告」ノ第二篇トシテ報恩會ガ出版費ヲ負擔シタモノデアツテ、安田氏ノ努力ト朝比奈博士ノ義俠心、ソレニ報恩會ノ行届イタ補助ト三者協力シテ立派ナ實ヲ結ンダワケデアル。

(1) 安田 篤：地衣類ノ三新種 [同上 XXXV, 84-87 (1921)]

WAINIO 及ビ ZAHLBRUCKNER
ノ傳記ニ就テハ既ニ多數ノ學者ガ
書カレテキルカラ蛇足ヲ附スル事
ヲヤメテ、タダ其等ノ文献ヲアゲ
ルニ止メル。⁽¹⁾

サテ安田時代ノ次ハ朝比奈時代
トナルワケデアルガ、本誌ノ讀者
諸賢ハ朝比奈博士ノ最近ノ業績ヲ
ヨク御存知ノ事ト思フシ、ソレニ
最近續々ト新知見ヲ發表サレル博
士ヲ捕ヘテ歴史上ノ人物ニシテ云
々スルコトハ妥當デナイカラ、マ
ヅ此邊ヲ擱筆スルコトニシタイ。

最後ニ一言附加ヘテ置カネバナ
ラヌノハ天羽氏ノ地衣ノ生理ニ關
スル論文デアル。⁽²⁾ 本論文ハ日本
デハ地衣類ノ生理學的研究ノ最初
ノ發表デアラウ。三好博士ノ指導

ノ下ニ立派ナ研究ヲ遂ゲテ東京帝大理學部植物學科ヲ卒業サレタ氏ガ、其後サ
ツパリ同方面ノ研究ヲ發表サレナイノハ残念デアル。

猶ホ日本産地衣類ノ分類ニ關スル文献ハ著者ガ既ニ植物學雜誌上ニ年代順ニ
列舉抄録シタシ、⁽³⁾ 又今後モ續ケル豫定デキルカラ參照セラレタイ。（完）



第 7 圖 學位授與五十週年記念日ヲ迎ヘタ
本年 75 歳ノ A. ZAHLBRUCKNER 博士
(REDINGER ノ記念文ヨリ)

(1) MAGNUSSON, A.H.: EDVARD AUGUST VAINIO (1853-1929) [Annal. Cryptog. Exot., III, 5-12 (1930)]

(1) GYELNIK, V.: E.A. Vainio † [Mag. Bot. Lapok, XXVIII, 176-178 (1929)]

(1) SCHULZ-KORTH, K.: E.A. VAINIO † [Hedwigia, LXX, 1-9 (1930)]

(1) REDINGER, K.: ALEXANDER ZAHLBRUCKNER ZUM goldenen Doktor-jubiläum [Annal. Cryptog. Exot., VI, 85-98 (1933)].

(2) 天羽良司：地衣ノ生理ニ關スル二三ノ觀察 [植物學雜誌 XXIX, 361-380 (1925)]

(3) 佐藤正己：日本産地衣類ニ關スル文献 I-IV. [同上 XLVII, 223-226, 322-326, 390-394, 466-471 (1933)]